

6. 東海（地域別調査機関：三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社）

（－：回答が存在しない、＊：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連 (東海)	◎	美顔美容室（経営者）	販売量の動き	・5%還元キャンペーンが今月で終わるため、今月中に購入しようという客が多かった。
	○	商店街（代表者）	お客様の様子	・現状の不景気は間違いなく新型コロナウイルスの影響である。ただし、今月に入り週末のにぎわいは戻りつつある。売上も80%ダウンから50%ダウンまで回復した。
	○	商店街（代表者）	お客様の様子	・新型コロナウイルスが少し収束してきたため、これから良くなっていくと見込む。
	○	商店街（代表者）	来客数の動き	・主要店舗の全てではないが、集客は回復の兆しがある。
	○	一般小売店〔高級精肉〕（常勤監査役）	販売量の動き	・新型コロナウイルスのどん底からは回復しつつあるが、実際はそこまで良くはない。
	○	一般小売店〔土産〕（経営者）	来客数の動き	・2月下旬から急な坂道を転がるように新型コロナウイルスが社会全体に大きな影響を与えた。6月に入ってやや復旧しつつあるが、まだ50%強の戻りとしか感じられない。観光業が一番ダメージを受け続けている。
	○	一般小売店〔土産〕（経営者）	来客数の動き	・消費地の飲食店への出荷が、徐々に戻ってきた。
	○	百貨店（売場主任）	お客様の様子	・5月中旬まで休業していたため、夏物を購入できなかった客が来店している。店によってはクリアランスセールも始まっており、まとめ買いをする客が多い。
	○	百貨店（総務担当）	お客様の様子	・売上は、インバウンド客の売上が剥落しているため前年並みの確保は難しいものの、少しずつではあるが回復をしている状況である。また、政府の給付金がこの地域でも支給され始めたこともあり、消費意欲が落ち込んでいるようにはみえない。
	○	百貨店（経理担当）	販売量の動き	・5月の最悪期からは脱した。
	○	百貨店（営業担当）	来客数の動き	・お中元、バーゲンセール時期になり、少し来客数が増えている。前年に比べれば、半分以下である。
	○	百貨店（営業担当）	来客数の動き	・前月まで営業自粛していたが、時間短縮ではあるものの通常営業できるようになった。
	○	百貨店（業績管理担当）	販売量の動き	・緊急事態宣言、移動自粛の解除があり、客の消費マインドが回復しつつある。それでも新型コロナウイルス発生前の来客数、売上にはまだまだ及ばない。集客力のある物産展が3密のおそれから開催できず来客数減少の要因になっている。
	○	百貨店（計画担当）	お客様の様子	・新型コロナウイルス禍での底の状況に比べて、来客数も増加傾向にあり、特にカードホルダーの買上の回復が顕著である。
	○	スーパー（ブロック長）	単価の動き	・新型コロナウイルスによる緊急事態宣言解除の後、外食やデパート、行楽地に出掛けてスーパーマーケットは売上の伸びが鈍化する見通しであったが、依然として客単価の伸びが継続している。
	○	スーパー（販売担当）	競争相手の様子	・最寄り駅近くの競合店が改装のため11月まで閉店する。そのお陰で売上、粗利は上がった。
	○	コンビニ（店長）	販売量の動き	・休業していた店舗が再開して、少しずつ商品が動くようになった。
○	コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの感染拡大時期と比較すると、来客数は7%回復できている。同時に客単価も大幅に改善した。商品カテゴリーごとに見ると、デザート、米飯、調理麺などが伸張した。	
○	衣料品専門店（売場担当）	お客様の様子	・お中元の時期に突入したこともあり受注が増え、3か月前と比較すると若干ではあるが改善傾向にある。	

○	家電量販店（店員）	単価の動き	・景気の傾向としては、若干良くなっているように見受けられる。3か月前は新型コロナウイルス禍の中でどうなることかと思われたが、10万円の給付金があり、外出せず自宅にいてエアコンやテレワークによるPC・関連商品の動きが良く全体を押し上げた。来客数は若干の伸びにとどまったが、特に機能の良い商品を購入する傾向が強くなり、単価を大きく押し上げる結果となった。
○	家電量販店（フランチャイズ経営者）	単価の動き	・6月は気温が高くエアコンがよく売れている。例年より1か月ほど早いように見受けられる。テレワークや巣籠りの影響もあり、今まで使ってなかった部屋にエアコンをつける客が多い。
○	乗用車販売店（経営者）	お客様の様子	・緊急事態宣言が解除されたことで、人の動きが出てきている。ただし、業種によってはまだまだ先がみえない状況である。
○	乗用車販売店（経営者）	来客数の動き	・新型コロナウイルスで自粛ムードだった3か月前と比べると、来客数も増えている。客も以前のような自粛ムードが減り、気軽な来店が増えてきた。
○	乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・新型コロナウイルスの関係で新車の販売台数が大幅に落ち込んでいたが、徐々に回復しつつある。前年比では2割程度落ち込んでいる。
○	その他専門店【貴金属】（経営者）	来客数の動き	・新型コロナウイルス対策の自粛ストレスの反動か、客の購買意欲が向上しつつある。
○	その他専門店【雑貨】（店員）	販売量の動き	・緊急事態宣言解除後は、以前と比較して販売量は増加している。特別定額給付金の影響もあるのではないかと見受けられる。
○	高級レストラン（経営企画）	来客数の動き	・自粛解除に伴い、徐々に来客数が戻ってきている。4月に始めたテイクアウト商品のニーズが高く、売上が補完している。
○	その他飲食【仕出し】（経営者）	販売量の動き	・緊急事態宣言の解除により人の流れは戻りつつあり、どん底のときよりはまだ良くなっている。
○	都市型ホテル（営業担当）	お客様の様子	・3か月前は新型コロナウイルスの影響で全く営業ができなかった。今月に入って少し宴会の利用もあるが、前年の10%前後で稼働している。大型の宴会は、全て開催見合せとなっている。
○	旅行代理店（経営者）	それ以外	・新型コロナウイルス禍による移動の自粛が解けて、デパートや飲食店等も再開して経済活動も以前よりは良くなってきた。人通りも増え閑散としていたターミナル駅前にもにぎわいが戻りつつある。
○	タクシー運転手	お客様の様子	・3～5月よりは夜の街や飲食店に客が戻っており、少し良くなってきた。
○	通信会社（営業担当）	販売量の動き	・通信設備の容量が10Gへと変わり、販売も好調となっている。
○	観光名所（案内係）	それ以外	・商店街や街中に人が段々と増えつつあり、期待できると見込む。
○	設計事務所（職員）	それ以外	・新型コロナウイルスの影響もあったが、現在は3か月前よりは景気が良くなっている。
○	その他住宅【不動産賃貸及び売買】（営業）	販売量の動き	・アフターコロナで、少しずつだが客足も回復し、通常並みには届かないものの入居したい客が動き始めている。
□	一般小売店【結納品】（経営者）	来客数の動き	・新型コロナウイルス対策の外出自粛以降、来客数が激減したままである。
□	スーパー（店長）	単価の動き	・新型コロナウイルスによる買物習慣の変化で来客数は減少傾向だが、1品単価は、特に週末には高く推移している。
□	スーパー（店員）	単価の動き	・外出自粛終了と学校再開によって、客の流れる時間帯が戻ってきた。給付金もあり、梅など高単価な物を買って求める姿が見受けられた。
□	スーパー（商品開発担当）	販売量の動き	・売上は3か月前と比較して余り変わらない。3か月前は新型コロナウイルスの影響でパスタ、レンジ米飯やラーメン等、売れる商品は決まっていたが、6月に入り通常の売れ方を取り戻しつつある。

<input type="checkbox"/>	スーパー（販売担当）	来客数の動き	・客の様子から、どちらともいえないと判断した。
<input type="checkbox"/>	コンビニ（エリア担当）	販売量の動き	・3か月前と比べたら来客数は落ちているが、客単価が上がり、販売量は戻ったように見受けられる。
<input type="checkbox"/>	コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・3月の新型コロナウイルスの感染が拡大し始めた頃と比較すると、3月の方がまだ来客数は多い状態であった。今月は昇り調子のため、トータルの実績では同ペースである。
<input type="checkbox"/>	コンビニ（店長）	販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響はあったが、少しずつ売上の減少幅が小さくなってきている。
<input type="checkbox"/>	コンビニ（本部管理担当）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響からの売上の回復が、まだ遅延している。6月の売上の前年比は91%で、関東圏では75～90%の地域も存在する。売上の回復に時間を要している理由には、新しい生活様式が影響している可能性も考えられる。
<input type="checkbox"/>	衣料品専門店（経営者）	販売量の動き	・バーゲンセールの案内で来店した客の単価が、例年の3割減であった。外出自粛をしていた結果ではあるが、購買意欲が戻ることを祈るばかりである。
<input type="checkbox"/>	家電量販店（店員）	販売量の動き	・定額給付金の影響なのか客が増えており、商品は日々よく売れている。
<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（営業担当）	販売量の動き	・4～5月の外出自粛の頃と比べると、来客数、販売台数共に増えてきて、3月頃程度には戻っている。
<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・来客数が回復しつつあり、成約率も上がってきている。ただし、元に戻りつつあるだけで、前年割れ、目標割れは続いている。ここ3か月の中では、持ち直してきたと思える売上になっている。
<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（従業員）	お客様の様子	・客の様子は様々であるが、個人的には売上は悪くなく問合せ件数も多い。
<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・緊急事態宣言は解除されたものの、客の新型コロナウイルス感染に対する警戒感は強く、用のない立ち寄りには嫌がられ門戸の広い営業活動はできない。また、客の仕事の状況が以前のように回復せず、今後の生活にも不安を感じているという話が出てきている。
<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（販売担当）	お客様の様子	・新型コロナウイルスの影響により、客の消費マインドが低下している。買い控えや、車検をせずに買換えをしていた客も車検を受けるようになった。
<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（営業担当）	販売量の動き	・4～5月に比べれば世の中の雰囲気が変わり、客との会話でも徐々に回復していると感じるが、数字には現れてこない。4月から例年の半分ほどの感覚が続いている。また、4～5月に工場や港が閉鎖されていた関係で、本来なら入ってきている商品が7月中旬まで入荷しないため、商談も弾まない。
<input type="checkbox"/>	その他専門店〔書籍〕（店員）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響は続いている。ふだんの生活に戻りつつも巣籠り需要で書籍の売上は好調で、前年比20%ほどアップしている。
<input type="checkbox"/>	その他小売〔ショッピングセンター〕（経理担当）	販売量の動き	・全国どこでも同じだと思うが、4～5月は新型コロナウイルスの関係で前年比はかなりのマイナスで、異常値である。
<input type="checkbox"/>	一般レストラン（従業員）	お客様の様子	・新型コロナウイルスの影響により客が激減した。まだ自粛ムードもあり、外食する客が少ない。
<input type="checkbox"/>	一般レストラン（従業員）	来客数の動き	・特別給付金のお陰か一部では売上が上がっていると聞くが、飲食店では団体客が見込めないので売上につながらない。
<input type="checkbox"/>	都市型ホテル（総支配人）	販売量の動き	・宿泊は、予約は若干増えたものの通常の15%程度の売上である。レストランも鈍い。宴会はほぼない状況である。
<input type="checkbox"/>	旅行代理店（経営者）	販売量の動き	・海外旅行の売上はゼロである。国内旅行も前年の5%程度で、まだ受注見込みが立っていない。

□	旅行代理店（経営者）	お客様の様子	・都道府県の移動が解禁となり、8月1～16日までの国内家族旅行の問合せが多数あった。やっと旅行を楽しめる雰囲気になってきた様子である。しかし、ここ数日で新型コロナウイルスの第2波も押し寄せてきているので、緊急事態宣言が発出されたらゴールデンウィークと同じ状況が起き、何をしているのか分からないことにもなりうる。Go To Travelキャンペーンのキャッシュバックを多少は期待しており、旅行終了後に領収書をキャンペーン事務局に送れば旅行代金・土産代を負担してくれる方法が一番合理的だと考える。まだ、きちんと決まっていないGo To Travelキャンペーンの支払を待っているのは、短い夏休みが終わってしまう。
□	旅行代理店（営業担当）	販売量の動き	・まだ終息の動向をみながらという条件付が多く、件数は少ないながらも、個人、小人数グループから夏休み以降の旅行相談が発生してきている。逆に、大型団体については、受注済みの案件がキャンセルや延期になる状況が続いており、総合的には、まだ数字の回復は程遠い。
□	旅行代理店（営業担当）	それ以外	・新型コロナウイルス感染拡大からの観光業界の復興は程遠く、県による宿泊割等の復興支援の補助金を利用して観光需要喚起を行っているが、取消しや延期になった団体旅行が復活しない限り景気の回復は見込めない。
□	タクシー運転手	来客数の動き	・繁華街は静かで、地下鉄の駅周辺にも人が少ない。最終電車の時間帯でも人がほとんどおらず、売上が少ない状態である。
□	通信会社（企画担当）	販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響により積極的な営業ができていないにもかかわらず、客からの引き合いが多く、ほぼ計画どおりの新規契約数を維持できている。
□	通信会社（営業担当）	お客様の様子	・テレワーク環境のためか解約件数が例年より少なく、契約件数は微増している。
□	レジャーランド（職員）	来客数の動き	・団体利用が全くなく、移動制限の解除後も個人客の出控えが続いている。
▲	商店街（代表者）	お客様の様子	・新型コロナウイルスのダメージが大きく、消費活動をずる状況ではない。
▲	一般小売店〔生花〕（経営者）	来客数の動き	・来客数はやや落ちている。外出を控える傾向は今も続いており、買物を楽しむ余裕がなくなっているように見受けられる。
▲	一般小売店〔生活用品〕（販売担当）	販売量の動き	・外出自粛が明けて人出は大分戻っているが、皆の財布のひもは固い。
▲	一般小売店〔書店〕（営業担当）	販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響で営業活動の制限があり、完全に再開できない状況が続いている。
▲	百貨店（販売担当）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの第2波に危機感を覚えながらも、来客数は徐々に増加してきている。給付金やボーナス支給のめどが立った客の来店もあり、自分へのご褒美で自家需要が高くなっている。
▲	スーパー（店長）	来客数の動き	・競合店の販促再開や外食需要が戻りつつあり、来客数が減少している。
▲	スーパー（支店長）	お客様の様子	・新型コロナウイルスの終息がみえず先行き不安のため、金にかかわる全てのことにシビアさが見受けられる。
▲	スーパー（販売担当）	お客様の様子	・通常営業に戻ったが、18時以降の来客数が15%以上減少しており、売上が伸び悩んでいる。
▲	コンビニ（店員）	単価の動き	・緊急事態宣言が解けてふだんどおりの生活が戻ってきたため、少し客単価が落ちてきたように見受けられる。
▲	乗用車販売店（経営者）	来客数の動き	・車検などの必要な点では変わらないが、その他の臨時整備などによる来客数が極端に減少しており、仕事量が少ない。新型コロナウイルス対策による外出自粛などの影響で事故が少なく、板金の仕事が少なくなっている。

▲	一般レストラン (経営者)	お客様の様子	・5月に新型コロナウイルスの影響でイートインスペースを閉鎖し、6月からカフェだけ再開したが、思ったよりも客が少なかった。
▲	一般レストラン [居酒屋] (経営者)	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響が残る。
▲	その他飲食 [ワイン輸入] (経営企画担当)	来客数の動き	・外出自粛は解かれたものの、旅行や外食などを自粛しなくてもよいのか、消費者は半信半疑な様子である。
▲	観光型ホテル (経営者)	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響で宿泊者数が確保できておらず、6月は回復基調とはなっていない。
▲	テーマパーク職員 (総務担当)	お客様の様子	・新型コロナウイルスの影響もあり、まだ心配している様子がうかがえる。
▲	ゴルフ場 (支配人)	来客数の動き	・今月は新型コロナウイルスの影響も多少薄れ、入場者数は4～5月よりは増加している。しかし、前年比でまだ10%以上減少しており、完全に元に戻る兆しがみえない。レストランの売上等はまた減少したままで、景気は非常に悪いと判断する。
▲	その他レジャー施設 [鉄道会社] (職員)	来客数の動き	・通学は分散登校を経て正常に戻りつつあるものの、3か月前より若干少なく感じる。満員だった列車に余裕がある状況である。
▲	美容室 (経営者)	お客様の様子	・新型コロナウイルスの影響が大きく、ボーナス時期で人の動きが出ると思っていたが、客足はまだ少ない。
▲	その他サービス [介護サービス] (職員)	販売量の動き	・日常に必要な介護用品の販売・レンタルなので、新型コロナウイルス禍の影響を大きくは受けていないが、売上は目標に到達できなかった。
▲	住宅販売会社 (従業員)	販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響で受注量は大幅に減少し、会社自体も人員や仕事内容の見直し整理に入っている。
▲	その他住宅 [住宅管理] (経営者)	お客様の様子	・管理している飲食店が新型コロナウイルス対策で自粛をしたまま廃業した。別の店をオープンしても客は戻らず、まだ影響が出るのではと懸念している。
×	商店街 (代表者)	販売量の動き	・来客数、売上全てが悪い。問合せの電話などもなく、営業していてもほとんどが暇な時間になっている。
×	一般小売店 [酒類] (経営者)	販売量の動き	・飲食店は、自粛解除となっても客足は悪く、3か月前に比べても悪い状態が続いている。新型コロナウイルスの影響で、飲食店内での飲食は増加していない。
×	百貨店 (経理担当)	販売量の動き	・国内客については需要の緩やかな回復がみられるが、海外客は各国の渡航制限によってほぼゼロの状態が続いている。
×	スーパー (経営者)	来客数の動き	・3月はまだ前年並みの来客数、売上があった。4月は前年比で75%減、5月が60%減、6月はまだ締めていないが50%減くらいと見込まれる。
×	コンビニ (企画担当)	販売量の動き	・まだまだ前年と比較して売上、来客数共に70%を下回っている状態ではあるが、前月と比べると若干改善の傾向がみえる。
×	コンビニ (店長)	来客数の動き	・やや回復しつつあるが、来客数、売上共に前年比25～30%減の状況が続いている。先行きのめどが立たない。
×	コンビニ (商品企画担当)	それ以外	・新型コロナウイルスの緊急事態宣言が全国的に解除となり、営業を自粛していた店舗の営業が再開されたことで売上も回復傾向にあるが、前年比でみると依然として50%を下回っており、赤字が続いている。郊外店舗の売上はある程度回復している一方で、主要駅に立地する店舗の売上が依然として厳しい。
×	衣料品専門店 (販売企画担当)	来客数の動き	・客が来ない。95%ダウンくらいである。電話やメールの問合せもほとんどない。
×	乗用車販売店 (従業員)	販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響により最悪の状況である。
×	乗用車販売店 (営業担当)	販売量の動き	・製造業が生産を減らしていることもあり、自動車の登録台数が増えない。少しずつ動きはあるが、販売量の動きは低迷している。

	×	住関連専門店 (営業担当)	お客様の様子	・新型コロナウイルスの影響により各企業へ営業できな かったことが、7月以降の売上に現状として出てくる。工 事の延期、キャンセルが続いており、建築工事については 3～6か月前の状況が反映されるため、これから秋口に掛 けて更に厳しくなる。
	×	一般レストラン (経営者)	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響により客足が戻っていない。
	×	観光型ホテル (支配人)	来客数の動き	・3か月前と比べると景気は相当悪いが、前月と比べると 10ポイントだけ回復してきた。それでも全社で前年の 20%、つまり80%のダウンである。一般宴会と宿泊宴会 は、4月から今月まで皆無の状態である。7月1日より閉 めていた食堂を再開するが、席数も半分近く減らしてい るので、以前のような売上は当分の間は望めない。
	×	都市型ホテル (経営者)	来客数の動き	・予約が全く入ってこない。
	×	旅行代理店(経 営者)	来客数の動き	・新型コロナウイルスの関係で改善の見込みはない。
	×	タクシー運転手	それ以外	・1つの項目が原因ではなく全てが悪い。生活できない。
	×	テーマパーク (職員)	それ以外	・新型コロナウイルス感染症により人の動きがない。
	×	パチンコ店(経 営者)	販売量の動き	・来客数や単価の動きが悪い。
	×	理美容室(経営 者)	来客数の動き	・暖かくなって人出が増えてもよいはずだが、まだ客は外 出を控えているため客足が伸びない。
	×	美容室(経営 者)	それ以外	・客の高齢化により、新型コロナウイルスの感染を恐れて 来客数が少ない。
	×	理容室(経営 者)	お客様の様子	・新型コロナウイルスの影響により仕事が激減した。
	×	設計事務所(経 営者)	来客数の動き	・4～6月の収入が0である。
	×	住宅販売会社 (経営者)	競争相手の様子	・競合相手も景気が悪く、先行き不透明で不安である。表 向きの景気だけが良いように見受けられる。
	×	住宅販売会社 (従業員)	販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響がまだまだ続き、3か月前よ り更に買い控えが進む。住宅は慌てて買うものでもないの で、以前から考えていた人は影響を受けず動いているが、 絶対数が少ない。短期集中で客が動いていないのが苦しい ところである。
	×	住宅販売会社 (従業員)	競争相手の様子	・取引先業者より、他社からの依頼が減ってきたといわれ た。一部の業者からは、5月の売上は0であったと聞く。
企業 動向 関連 (東海)	◎	—	—	—
	○	窯業・土石製品 製造業(社員)	受注量や販売量 の動き	・新型コロナウイルス禍の始まりの頃に、供給断絶を心配 して前倒しで注文が入ったが、その後も例年と同じペース で受注している。新規の見積依頼も多く、成約率も高い。
	○	建設業(役員)	受注量や販売量 の動き	・6月に入り新型コロナウイルス対策の自粛解除に伴い客 が少しずつ動き出し、来場者数や契約が伸びてきた。特 に、実需として必要な客は動いている。
	○	不動産業(経営 者)	それ以外	・例年同様に曇りや雨の日が多い上に、新型コロナウイル スの影響はまだ続いている。公共交通機関の利用者は少し ずつ回復傾向にあるが、売上は前年同期を大きく下回っ ている。
	○	新聞販売店〔広 告〕(店主)	受注量や販売量 の動き	・6月に入り折込広告がやや戻ってきている。
	○	会計事務所(職 員)	取引先の様子	・新型コロナウイルスの影響で売上の落ち込みが激しか った飲食店やサービス業を営む取引先からは、少しずつでは あるが、来客数が戻ってきたという話を聞く。実際の売上 高を確認しても、最も低迷していた時期に比べると増収の 取引先が多い。
	○	会計事務所(職 員)	取引先の様子	・絶不調だった飲食店の客足が半分くらい戻ってきてい る。従業員を全休させていた事業所も、何日かは実際に仕 事ができるようになってきた。
	□	金属製品製造業 (経営者)	受注量や販売量 の動き	・販売量が少ない状況が続いている。

□	電気機械器具製造業（営業担当）	受注量や販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響が減ってきたものの、もともと時差出勤程度への対応だったため、状況は余り変わっていない。
□	電気機械器具製造業（総務担当）	取引先の様子	・ケーブルネットワーク構築事業では、新型コロナウイルスの影響で一部工事がストップしていたが現況は動き出し、受注も好調である。通信に関連する事業は、どこでもネットワークの高度化に向けて対応を積極的に進めている。
□	建設業（営業担当）	取引先の様子	・現在携わっている業種においては、特別に新型コロナウイルスの影響はないが、仕事が減っているという取引先の話も聞くため、どちらともいえない状況である。
□	輸送業（エリア担当）	受注量や販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響で国際物流量が減っている。
□	広告代理店（制作担当）	取引先の様子	・新型コロナウイルス禍での緊急事態宣言は解除されても、客側が積極的な行動を控えているため、広告業界そのものが足踏み状態となっている。
□	その他サービス業 [ソフト開発]（社員）	受注量や販売量の動き	・派遣契約の契約終了が続き、次の取引先が決まらない。新入社員については配属先が決まらずにいる。
▲	食料品製造業（経営企画担当）	受注量や販売量の動き	・一部の行動規制が解除された解放感から、一時的に消費は上向いた感じがするものの、将来を見据えれば不安は多い。
▲	化学工業（総務秘書）	取引先の様子	・飲食チェーン店やクラブなど、社用の飲食で使われる店は惨憺たる状況であり、廃業を考える経営者も多いのではないかと。3か月前は自粛が浸透していった時期で、現在は緊急事態宣言が解除されて街はにぎわっているが、社用での飲食の再開は、1か月ほど様子見をしてからとなるだろう。
▲	金属製品製造業（従業員）	受注量や販売量の動き	・もともと今年は少ない予定だったが、新型コロナウイルスの影響かは分からないが、案件の動きが鈍くなってきている。引き合いが減ってきている。
▲	一般機械器具製造業（営業担当）	受注量や販売量の動き	・北米では、自動車向け設備投資の引き合い、受注が全くない。既に受注している案件も納入を先延ばしにする依頼が入っている。欧州も、多くの客、代理店で休業状態が続いており、このまま夏のバカンスへ突入しそうである。
▲	電気機械器具製造業（経営者）	取引先の様子	・新型コロナウイルス対策による客先業界の休業は明けてきたが、設備投資をするほどのホールがなく、なかなか売上につながらないのが現状である。
▲	輸送業（従業員）	受注量や販売量の動き	・取引先の話では、6月の取引量ははまだ4～5月と同じくらいで回復には至らない。緊急事態宣言が解除されてもすぐには変わらないようで、現在は世間の荷動きの回復を待っている状況である。
▲	輸送業（エリア担当）	受注量や販売量の動き	・毎日の取扱荷物は3か月前より5%減少している。新型コロナウイルスも見通しが立たないため、ヒトもモノも動かず全体的に上向き要素がない。購買意欲も落ちていることから、この状況は続くと考えられる。
▲	通信業（法人営業担当）	競争相手の様子	・自治体等の提案先で競合他社に出会う回数が増えたが、逆に民間企業への提案時には、ほとんど競合他社に出会わない。民間企業には提案しても投資は厳しいということが、常識になりつつある。
▲	通信業（法人営業担当）	それ以外	・親会社のテレワークの導入により受注量が30%減り、発注量も減少している。4～6月のGDP予測から、欧米や我が国の経済はL字回復となるのか。消費マインドが冷えたままなのか、世界の国々との共栄や交流次第となるのか、経済の変化への対応力が試されている。
▲	通信業（総務担当）	それ以外	・前月同様に、新型コロナウイルス対応の自粛で人の動きがまだまだ制限されている。警戒心の強い人に影響されて、活動自粛を緩和したい人も動きが取れない。

	▲	金融業（企画担当）	取引先の様子	・新型コロナウイルスの影響が依然として大きい。ホテル、飲食店や旅行関連の業種が特に厳しい状況である。製造業でも自宅待機がまだ継続している企業もあり状況は変わらないが、時間が長くなっている分、体力がそがれていく企業が増えている。
	▲	不動産業（経営者）	受注価格や販売価格の動き	・売却時の値引きや価格の低下があり、購買意欲の後退がみられる。
	▲	行政書士	受注量や販売量の動き	・出荷量が減少している。
	▲	その他非製造業 [ソフト開発] (経営者)	取引先の様子	・取引先のトップが許可を出さず新しい仕事がストップしたままで、試練となっている。これまで以上に努力しなければならない。
	×	食料品製造業 (営業担当)	取引先の様子	・新型コロナウイルスの影響が濃厚に残っており、取引先の注文数も少なく業界自体の景気がとても悪い状況である。
	×	パルプ・紙・紙 加工品製造業 (顧問)	受注量や販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響で取引先も休日を増やしている状況であり、受注量、販売量は前年比60～70%と大幅に減少し、景気は大変悪い。
	×	出版・印刷・同 関連産業（営業 担当）	それ以外	・新型コロナウイルスの影響が本格的に出てきた。取引業者が倒産するという話もあり、これから景気が下がっていくと考える。
	×	化学工業（営業 担当）	受注量や販売量の動き	・自動車に関連する化学薬品の需要が悪くなっている。また、新型コロナウイルスの影響で3～4月に在庫積み増しを行っていた客先について、在庫過多の状態となったために調整が入り、需要が悪くなっている。
	×	鉄鋼業（経営 者）	受注量や販売量の動き	・3～6月と月単位の受注量が減少している。各月で1～2%ほど通常値より減少している。これに新型コロナウイルスの影響による受注減が重なっている。
	×	輸送用機械器具 製造業（経営 者）	受注量や販売量の動き	・業界の目安である工作機械の月次動向が下がり、上向く気配がない。設備関連も半分以下の状態である。取引先の訪問も規制されたままで、取引先の正確な状態もつかめない。
	×	輸送用機械器具 製造業（品質管 理担当）	取引先の様子	・航空業界の景気が最悪の状況となっており、派遣切り等が大発生している。自分自身も今の派遣先が終了となった。
	×	輸送用機械器具 製造業（総務経 理担当）	受注量や販売量の動き	・完成車メーカーの生産ラインがストップしており、部品供給の下請会社も生産量が少なくなっている。
	×	輸送用機械器具 製造業（管理担 当）	それ以外	・新型コロナウイルスの影響による収入減で、買い控えをしている。
	×	輸送業（経営 者）	受注量や販売量の動き	・消費財は、物量が減ってきてはいるものの、前年並みを維持している。生産財は、前年比20%以上減少の客が増えている。収益が落ちているにもかかわらずサービレベルを落とすことが許されず、運転手、物流センター作業員共に仕事がないにもかかわらず休ませられず、助成金の申請もできない。
	×	金融業（従業 員）	取引先の様子	・新型コロナウイルスの影響により、製造業は例年に比べて夜勤、残業がなくなり仕事量が減っている。自動車製造業、部品製造業は、景気としては良くないと判断する。
	×	公認会計士	それ以外	・客の業績が悪化している。
雇用 関連 (東海)	◎	—	—	—
	○	人材派遣会社 (企画統括)	求人数の動き	・求人を見合わせていた企業で求人を再開する動きが、一部にみられてきた。
	○	アウトソーシング 企業（エリア 担当）	周辺企業の様子	・自動車製造に関して、6月までは生産調整で休業日を設けていたが、7月以降は通常稼働をする予定となっている。また、自動車販売においては、国内外の市場において上向きに推移しているため、今後も良くなると見込まれる。ただし、自動車メーカーや車種によっては厳しいところもある。
	○	民間職業紹介機 関（営業担当）	採用者数の動き	・将来予測をした上での募集終了等も、一旦底を迎えた状態である。今後に関しては、本質的に必要となるポジションで募集をしていく会社の動きが、顕著に表面化してくる可能性がある。

□	人材派遣業（営業担当）	周辺企業の様子	・製造業について、自動車関連に限っては下げ止まりの感がある。当面この状況が続くため、下げ止まりが継続すると想定する。
□	人材派遣会社（社員）	求人数の動き	・新型コロナウイルスの影響で取引先が休業のため、収益はない。
□	新聞社〔求人広告〕（営業担当）	求人数の動き	・緊急事態宣言の解除から1か月たつが、求人は減ったまま変わっていない。
▲	人材派遣会社（経営企画）	周辺企業の様子	・開発支援の新規需要はやや回復基調であるが依然低い水準で、新規採用者の稼働遅れや既存稼働者の契約終了も発生し、稼働率低下の要因となっている。
▲	人材派遣会社（営業担当）	周辺企業の様子	・主要客である自動車メーカーでは、3か月前の新型コロナウイルス感染拡大前に比べて、派遣の引き合い件数が明らかに減少している。
▲	職業安定所（職員）	求職者数の動き	・事業主都合の離職者が大きく増加してきている。
▲	職業安定所（次長）	求職者数の動き	・新型コロナウイルスの影響により、外国人を中心とした非正規労働者の雇止めが多くなっている。
▲	民間職業紹介機関（支社長）	求人数の動き	・サービス業、小売業の大手の求人はまだ戻ってきていない。製造業も同様である。
×	人材派遣会社（営業担当）	求人数の動き	・人材派遣の求人数は前年比で50%を下回っている状況で、求職者数は前年に比べ2割程度増加している。
×	職業安定所（職員）	求人数の動き	・前月と比較し、新規求職者の増加に加え、新規求人数の大幅な減少がみられる。
×	職業安定所（次長）	求人数の動き	・新規求人数が、前年同月と比較すると大きく減少している。
×	職業安定所（次長）	求人数の動き	・新型コロナウイルス感染拡大の影響等から、製造業を始めほとんどの産業で、前年同月より有効求人数、新規求人数共に減少している。